



ID: 1328

科目名	建築設計Ⅳ【26年度生用】			コード			
英語表記	Elements of Design and Principles of Design IV						
担当教員名	古屋 正次			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	演習	授業形式	面前	履修形態	選択		
授業概要							
これまで学んだこと(建築設計Ⅰ―Ⅲ)を総合化し、集合住宅を中心とした複合施設の設計に取り組む。大規模な建築では、設計コンセプト(趣旨)が重要になる。日頃の問題意識や社会的なテーマも取り込んだ意欲的なデザインが求められよう。また、図面の完成度、プレゼンテーションの説明力も重要な評価基準である。建築に対する各々の夢や理想をこの作品に込めてもらいたい。							
到達目標							
1) 設計コンセプトをまとめる。2) 複雑な機能・用途を統合化し、建築として成立させる。3) 設計案の中に、独自性をもたせる。4) 説得力のある図面・パース・模型を作成する。5) 自らの設計案をプレゼンテーションする。							
授業計画							
第1回	設計課題の説明 敷地調査 設計コンセプトのまとめ方						
第2回	コンセプト 敷地に対する考え方、設計のテーマが妥当かを検証する。						
第3回	基本計画 コンセプトの展開、デザインのねらい、建物の大きさ・位置・向きは適切かを検証する。						
第4回	機能と構造 要求された機能が満たされているか、構造的に成立するかを検証する。						
第5回	デザイン 外観デザインは周辺環境に対する適切な解答となっているか、内部空間は魅力的な構成になっているかを検証する。						
第6回	配置図・平面図 を作図する。						
第7回	配置図・平面図 着色や影を入れるなど、図面のレベルアップを図る。						
第8回	配置図・平面図 プレゼンテーションを意識し、描き込みを増やす。						
第9回	断面図・立面図 断面図で空間構成を表現し、立面図で外観デザインを表現する。着色し影を入れるなど、図面のレベルアップを図る。						
第10回	断面図・立面図 プレゼンテーションを意識し、描き込みを増やす。						
第11回	透視図(パース) 外観図を作成する。						
第12回	透視図(パース) 外観図に着色、影など加えより良い工夫を努力する。						
第13回	模型 スチレンボードを用いた外観模型を作成する。						
第14回	模型 植栽や車などの点景を加え、完成度を上げる。						
第15回	作品の発表と評論						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
課題の提出物により表現力・完成度・理解度を総合的に評価する。そのほか、学習意欲・出席状況も考慮する。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
授業外学習			テキスト、教材				
			テキストはなし。課題内容の資料を講義演習時に配布する。				
参考書			受講生へのメッセージ				
日本建築学会編「建築設計資料集成「居住」丸善富塚信司編「建築製図」実教出版社			設計の総合化、建築計画・建築設備・建築構造の相互関係を設計に融合履修条件として、「建築学概論」「建築構法」「建築構造Ⅰ、Ⅱ」「建築設計Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を履修しておくことが前提となる。				
キーワード							